

榊 誠司〔組織本部長〕

生活協同組合おかやまコープ



おかやまコープは1956年に設立された生活協同組合で、岡山県内の4割を越える31万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。

宅配事業(班配と個配)と店舗事業(県下12店舗)で食品や日用品などを供給する購買事業を中心に、CO・OP共済「たすけあい」や「あいぷらす」などの共済事業、訪問介護やデイサービスなどの福祉事業を行っています。品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の取得や商品トレサビリティの取り組み、「食の安全総合政策」の策定とその実践などを通じて、安全・安心な商品の提供や生産者の顔の見える産直事業、循環型農業の応援などを含めた地産地消を推進しています。

また、組合員活動では、商品の学習や生産者、産地との交流など

の商品運動、食育をすすめる「食べる・たいせつ」活動、社会保障や税金などくらしの安心を守る活動、核兵器と戦争のない平和な世界をめざす活動、ユニセフやAMDAへの支援をすすめる国際協力支援活動、「子育てひろば」などの子育て応援活動や組合員どうしで支えあう「コープくらしの助け合いの会」の活動、そして、様々な環境保全活動など、「わたし発」を大切にした自主・自発の多彩な組合員活動に取り組んでいます。

また、関連会社のコープP&Sでは、旅行・飲食・フィットネス事業の他、葬祭や保険などの斡旋事業を行っています。

おかやまコープの環境活動は、身近なところから生まれ、牛乳パックの自主回収から始まったリサイクル活動やマイバッグ運動、環境測定活動などへと広がってきました。

2009年度は、CO2削減のくらしのきっか

けとして「ライトダウンキャンペーン」に取り組みました。

また、行政や諸団体と協力し「エコチャレンジ」「キッズエコチャレンジ」「電気ダイエットコンクール」など様々な省エネ活動が暮らしている身近なところで広がっています。

事業では、電気やガス、配送車両燃料などの使用量を削減する取り組みでCO2排出の抑制に努めています。夜間の節電対策や節電装置の設置、省エネ機器の導入、配送車両の燃料に、BDF(リサイクルされた廃食用油などの生物由来油から作られる燃料)のトラックの試験運用も始めました。また、エコドライブの徹底や配送コースの効率化などを行っています。

おかやまコープの理念のもと、事業と活動を推進し、安心して暮らせる地域社会の実現に貢献できるように役割を發揮していきたいと考えています。

榊 誠司 氏

生活協同組合おかやまコープ組織本部長。

(財)おかやま環境ネットワーク専務理事。

おかやまコープの理念

- * 思いやりの心でつなぐ人間らしいゆとりあるくらしの創造
- * 参加・自主・自立で学び成長する多数者組織の実現
- * 協同と連帯がはぐくむ組織と地域社会の発展